

学校法人 高田学苑
高田短期大学育児文化研究センターだより

IKUBUN NEWS

第13号 2011.3.16

発行 高田短期大学育児文化研究センター
〒514-0115 三重県津市一身田豊野195
TEL 059(232)2310(代表) FAX 059(232)6317

これからの育文センターの歩みに期待をこめて

例年よりも寒く高田の山も真っ白にした雪の季節から、春の訪れを学内でほころぶ桃の花が告げてくれるまでになりました。

平成22年度当初に「育児文化研究センターのこれから」として本誌でご挨拶させていただいてから早いものでもう年度末を迎えます。今年度は、センターの「これから」をどのように描こうかと試行と思考の連続でありました。

まず、改めてセンターの目的である「研究活動と地域連携・貢献」が両輪であるということに立ち返り、これからのセンターの運営や活動、事業内容についての検討を行いました。研究員・客員研究員の方々とも意見を交わし、一部センター規程を改定するなどして、次年度は新しい体制でスタートすることになりました。また、地域連携事業として取り組んだ『元気っ津まつり』からは、地域子育て社会の充実と子育て家庭の支援を行うメンバーとして、どのような役割が求められているのかを津市やNPO、その他支援団体の方々と同じテーブルで議論、ワーキング、実施をさせていただくことで、考えを新たにし、さらに課題も発見したと思っております。

そして、平成23年度から地域開放事業として、学内施設を使用した子育て支援の「ひろば」を実施する運びとなりました。センターの「これから」を描くための *key-place* になると確信しています。地域の親子のみなさんのニーズに応え、みなさんと創る「ひろば」、「ひろば」をフィールドとした研究活動の充実、そして、この「ひろば」を拠点とし地域と連携した支援の活動…、とこれらの取組みを有機的につなげていくことが、センター機能の充実と発展につながると考えています。

今年度も親子のみなさんはじめ、子どもの明るい未来を願う多くの方々から示唆をいただいたことに感謝いたします。次年度もセンター活動に変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

育児文化研究センター長 福西 朋子

～H23年度から子育て支援のひろばを学内に開設します！～

育児文化室 地域開放事業

おやこひろば たかたん



開放日：毎週 月・木の午前中

対象者：未就園児とその保護者

♪ 親や親子の交流と活動の場を提供します。

♪ 子育てに関する相談を行います。

♪ 子育てに関する講座を開催します。

♪ 活動の情報を発信します。(HPなど)

*保育士資格を有するスタッフが常駐します。

*センター研究員が、アドバイザーとして関わります。

— 詳細は、チラシやHP等でお知らせします。 —

<平成22年度 事業・活動報告>

平成22年度は、研究活動としては定例研究会のほか子育て支援に関する研究会を行いました。また、今年度は、「津市子育て・子育て支援会議」コアメンバーとして参画した「元気っ津まつり2010」がメインの事業となりました。

定例研究会

平成22年度、第27回（7/7）、第28回（10/13）、第29回（1/19）の定例研究会の報告です。

第27回

テーマ：スリランカの育児文化事情 —メッタ幼稚園の事例紹介—
提案者：大西眞純客員研究員

大西客員研究員が10年間、関わり支援をしてみえるスリランカのメッタ幼稚園について、スリランカの国情、育児文化事情を交えながら事例紹介されました。幼稚園の一日の流れや年間行事等、スライドやDVDを通して紹介されました。日本の子育て環境や幼稚園活動との違い、また理解できるところなどもあり、研究員から多くの質問がなされました。



第28回

テーマ：子育て環境と音楽表現 —表現を楽しむ音楽活動を通して—
提案者：三宅啓子研究員



日頃の授業を通しての学生の現状などと共に、養成校における音楽教育の一提案がなされました。

言葉（歌詞）の意味、詩の大切さについてのお話と共に演習も行われ、参加者が表情の大切さ、表現することなどについて考えさせられた研究会となりました。三宅研究員が実際に学生に指導をされている取り組みを研究員も体験させていただきました。研究員各々の音楽的表現や感性が垣間見られた楽しい研究会となりました。

第29回

テーマ：人形劇を通じた学生の育ちと地域貢献の可能性
提案者：わけびき真澄研究員・上村晶研究員

研究員による発表と、学生16名の縁起人（えんぎんちゅ）による人形劇が上演されました。昨年度から活動を行っている人形劇団のこれまでの活動状況、その歩みからみられた学生の学び・育ち、人形劇を介したこれからの地域貢献のあり方について、団員へのアンケート結果を基に考察がなされました。

人形劇上演では、普段はおとなしい学生も、すっかり役になりきり堂々と演じる姿に感動させられました。縁起人のメンバーは、これまでも保育園や元気っ津まつり、高田高校の馬場で行われた馬フェスタなど、この一年間忙しく公演を行ってきました。上演を通して学生が育っていることがしっかり伝わってきました。



～育児文化研究促進事業～
研究会

今年度、新規事業としての研究活動です。テーマを決め約1カ月に1回のペースで研究会を開催しました。

H22 研究テーマ：三重県における子育て支援の現状と課題

第1回 内 容：研究目的、調査研究の具体的内容について
開催日：平成22年8月2日（月）15:00～
参加者：10名

第2回 内 容：三重県の子育て支援状況について
開催日：平成22年9月10日（金）14:30～
参加者：7名

第3回 内 容：子育て支援政策の変遷と子育て支援について ～先行研究レビューから～
開催日：平成22年10月27日（水）16:30～
参加者：8名

第4回 内 容：子ども・子育て新システムに関することについて
開催日：平成22年12月22日（水）16:30～
参加者：8名

* 次年度も継続で研究をします。研究結果は紀要等で発表をする予定です。



津市次世代育成支援行動計画関連事業
津市子育て・子育て支援
元気っ津まつり 2010

津市次世代育成支援後期行動計画事業

子育て・子育て支援「元気っ津まつり 2010 つなげてつなげて子育ての輪 ～自分のことが好きですか?～」

開催日時：平成22年11月7日（日）10:00～15:00

会 場：芸濃保健福祉センター

主 催：津市、津市子育て・子育て支援会議

〈参画内容〉

- ・「全体企画」「出典ブース」「ステージブース」の各スタッフ
 - ・バルーン会場装飾、受付、抽選会補助、パンフレット作成・印刷など

出展ブース：「あそびひろばたかたん」「子育て相談」「パラバルーン」「元気っ津ダンス」「人形劇（仏教文化研究センター連携）」
参加教職員9名、学生（子ども学科・オフィス情報学科）44名。



子育て応援隊学生製作看板



当日は、約2000名の来場者があり大変な盛況でした。センターとしても初めての取り組みであり、企画や準備は試行の連続でしたが、より良い地域子育て社会を築いていくメンバーとしての使命を実感した取り組みでした。

次に「子育て応援隊」としての参加した学生の取り組み状況を学生の声も交え紹介します。

大学祭で取り組んだキッズランドでの経験と製作物を活かして、バルーンアートとアイロンビーズ、的投げ(ピザ投げ)あそびを行いました。どのあそびもとても人気がありました。また、あそんだり、作ったりしている子どもの様子から、「もう少し、こうすればよかった」など反省する点もありました。

そして、参加する親子のみなさんの姿から気づくことや「いいのかな」と思う面もあり、これから保育や子育てについて学ぶためのよい体験となりました。
(たかたんサークル学生)



高短祭のキッズランドで取り組んだパラバルーンを、元気っ津まつりでも実践してみました。どのように構成すれば子どもたちにパラバルーンを楽しんでもらえるのかを、実際の練習で何度もやってみて構成を組んでいきました。当日は、不安もいっぱいでしたが、50名近くの親子が参加してくれて、一緒に風を感じながらパラバルーンを楽しむことができました。子どもたちの笑顔を見ることができて、本当に良かったと思いました。

山原実緒(子ども学科1年)



今回、私達の人形劇サークル縁起人(えんぎんちゅ)は、元気っ津まつりに向けて人形劇「一寸法師」の人形製作や、練習に取り組んできました。公演が近づく学校に遅くまで残り、人形の動かし方や、声の出し方などを確認しながら練習をしてきました。当日は2回公演で200人近い親子の方に観に来ていただき、とても緊張しましたが子ども達の楽しそうな声や、親子で劇を楽しむ様子を見て私達も楽しく劇をすることが出来ました。私が人形劇を続けてこられたのは、縁起人の明るく楽しい仲間がいたからです。本当に縁起人に出会えて良かったです。

青木志保(子ども学科2年)



私たちは元気っ津まつりのダンスをオープニングとエンディングで踊りました。振り付けは子どもたちにもとても分かりやすかったので、私たちを見て元気に真似をしてくれたり、知らない友だちとも楽しそうに踊っている姿を感じることが出来ました。みんなが初めて聞く歌とダンスを通じて会場が一体となり、会場に集まった全ての人々がテーマ曲によって心が通じ合うことができると感じました。

また、元気っ津まつりを中心とした、子育て・子育て支援をテーマとした卒論も書きました。今回のイベントで地域交流や親子・親同士の関わりが深まり、子育ての楽しさを感じる機会になったのではないかと考えています。

稲垣明日香・阿部沙織(子ども学科2年)

新入会研究員の紹介と研究員の活動紹介

前畑みち代 客員研究員（新入会）



40年間の長きにわたって幼稚園、保育園の現場で幼児教育に専念し、たくさんの方々に支えていただき、喜びも苦しみも幼児とともに乗り越えて今は充実感を得られて感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は子ども学科の授業を担当させていただきました。それに伴い、育文センターの研究員の一人に加えていただき、育児文化研究活動のお手伝いができるかと思っています。「表現」は大人が子どもと接しながら感情豊かに表すことで乳児期から心身共に豊かな表現活動を体験し自分のものにしていくことだと思っています。このような思いを大切にしながら育児文化研究センターの活動を通して、高田短期大学の社会貢献への一役に努力していきたいと思っています。どうぞよろしくご指導賜りますようお願いいたします。



橋本景子 研究員（活動紹介）

「子育てママのホッとひろば」が始まって3年。今年度からは津市役所との共同で行わせていただくことになりました。「ひとりで子育てをする」という意識を少しでも減らしてもらえたら、そうすることで子育て中のママたちに少しでも楽になってもらえたら、そして子どもが命を落とすことのない津市にしたい。そんな思いを込めてスタートしたものでした。さすがに津市の力は大きく、市と繋がったことでたくさんのママからのアクセスが増えつつある現状です。「聴いて!」「つぶやいてみたかった」「言うだけ言ったらスッキリした!」そんな声が聞こえてきます。(フォローはネットで繋がることです)

子育てを終えた人たちからすれば「そんなこと」「子育てなんてあとから思えば少しの辛抱よ。過ぎてみれば楽しかったと言えるから」そういう声の子育て真っ最中のママたちには棘になるのです。そして、心がどんどん弱っていくのです。それを「弱っちい」あるいは「みんなそうやって子育てをしてきたんだから」などと思う方がいたら要注意です。時代は変わってきているのですから、もしも卒業生の方でも納得のいかない方がいたら考えを改めてください。「世代交代!」なんていわれないうちに。私たちって、誰かわかってくれる人がいれば本当に嬉しいものです。「子育てってなんか大変ね」と言われたときに「本当ね」と言ってもらっただけでいいのです。「みんながやってきたこと」そんなことはみんなよくわかっていきます。「わかっちゃいるけどどうにもならない(古いですか?)」そこをわかってもらいたいのです。これからも子育てママを支え続けたいと思っています。もちろん、PCは持ち歩いています。



子育て応援隊の活動紹介

今年度もいろいろな地域や会場で子どもたち、親子の方々とふれあう経験をさせていただきました。

(スナップ写真No. は一覧表のNo. です)。

No.2 名張育成園まつり



No.4 歯の健康展



No.7 幼稚園納涼大会



No.8 保育園夏まつり



No	月日	行事名	内容	人数	場所	主催団体
1	4月4日	花まつり	幼児～小学生低学年の子どもの託児とバルーン体験	3	天台真盛宗 福満寺	天台真盛宗 福満寺
2	5月16日	名張育成園まつり	着ぐるみを着てお菓子の配布・模擬店の補助	11	名張育成苑	社会福祉法人 名張育成会
3	6月6日	第55回三重県・第48回中勢地区母親大会	乳幼児・児童の保育	8	久居市民会館	第55回三重県・第48回中勢地区母親大会実行委員会
4	6月6日	歯の健康展	バルーンの作成・配布	12	津リージョンプラザ1階	歯の衛生週間事業実行委員会
5	6月27日	第10回 ぐみの木まつり	まつりの保育及び模擬店の手伝い	7	ぐみの木はいくえん	社会福祉法人鈴生会 ぐみの木はいくえん
6	7月3日	豊かな就学前人権教育実践交流会	研修会の受付・書籍販売等	10	高田短期大学	(社)三重県人権教育研究協議会
7	7月10日	まつさか幼稚園 納涼大会	バザー販売・設営の手伝い、ゲームコーナー設置・運営等	9	まつさか幼稚園 園庭	まつさか幼稚園
8	7月17日	高田保育園 夏まつり	バルーンの作成・装飾、模擬店の応援	26	高田保育園 園庭	高田保育園
9	7月21日	高田幼稚園 夏まつり	模擬店の手伝い、園児引率の補佐	22	高田幼稚園 園庭	高田幼稚園
10	7月24日	あかつき保育園 夏まつり	各ブースの応援	6	あかつき保育園 園庭	あかつき保育園
11	8月20日	学生さんと楽しく遊ぼう	学生企画による親子ふれあいあそび	10	芸濃子育て支援センターぶちぶち	芸濃子育て支援センター ぶちぶち
12	8月28日	みえの子ども応援プロジェクト「わくわくチャレンジタウン」	運営補助・子どもたちの傾聴及び交流	17	メッセウイングみえ	三重県健康福祉部こども局未来室
13	8月30日 ～31日	みえの子ども応援プロジェクト「よっかいちステーション」	読み聞かせ・大型らくがき等の運営補助	6	ラスタクエア四日市	三重県健康福祉部こども局未来室
14	9月10日	子育て支援センター「ぶちぶち」	学生企画による親子ふれあいあそび	6	子育て支援センター「ぶちぶち」	
15	11月7日	元気っ津まつり2010	親子あそびひろば・人形劇・バラバルーン・元気っ津ダンス相談コーナー 託児	44	芸濃保健センター 芝生広場	津市 津市子育て支援協議会
16	11月20日	子育てママのホットひろば	子どもの託児	6	津リージョンプラザ	津市子育て支援システム地域運営協議会
17	11月20日	しと祭	ツイストバルーン指導・製作サポート	4	津市立北立誠小学校	津市立北立誠小学校PTA
18	11月21日	梅村幼稚園文化祭	着ぐるみを着ての募金活動・全体運営補助	3	梅村幼稚園	三重中京大附属梅村幼稚園
19	12月4日	生活発表会	園児の着替え等の補助・舞台設定の手伝い	16	高田短期大学講堂	高田幼稚園
20	2月20日	子育てママのホットひろば	子どもの託児	13	津リージョンプラザ	津市子育て支援システム地域運営協議会
21	2月26日 ～27日	梅村幼稚園「音楽フェスティバル」	会場受付・園児のお世話・楽器、道具の出し入れ	10	松阪市民文化会館	三重中京大附属梅村幼稚園
22	3月9日	音楽で楽しむふれあいあそび	歌あそびと音楽による絵本の読み聞かせなど	4	北勢町子育て支援センター すこやか	メッシュいなか 北勢地区

No.14 支援センター訪問



No.15 元気っ津まつり



No.18 幼稚園文化祭



No.22 音楽あそびひろば



センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学育児文化研究センター

住所 〒514-0115

三重県津市一身田豊野 195

高田短期大学

Tel (059)232-2310 (内線 123 番)

Fax (059)232-6317

Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



〈 編集後記 〉今年度は、私自身もたくさんの子育て応援隊や「縁起人」の学生たちと接する機会がありました。そんな中で感じたことは、学生を外に連れて出ることが様々なアクシデントを想定すると大変なことですが、それでもそれ以上に学生にとって得るものは大きかったということです。こういった社会経験をすることが本当に大切なことで、だからこそボランティア経験を重視している国があるのだと実感させられました。これからも、できる限りのことは学生に経験させてやりたいものです。そして次年度からの当センターの開放事業に向けて、更に学生と共に取り組んでいきたい思いを募らせています。今後ともこれから育ちゆく育児文化研究センターをみなさまどうぞよろしくお願い致します。(K・H)